



〔管理者・保全団体〕湯田川地区自治振興会

ポイント

庄内三名湯の一つである湯田川温泉の近くに岩清水八幡宮があり、その傍らの小さな祠から湧き出ているのが「岩清水」。この水は、平安時代後期にあった後三年の役に出陣した八幡太郎義家が、この地で矢尻をもって岩石を穿ち得られた名水とされている。

岩清水八幡宮は、京都の石清水男山八幡宮から分霊したとの由緒があり、また天保7年（1836年）の江戸時代には、庄内藩主が湯田川温泉に入湯する際に、この名水で茶をたてたとする記録が残る。



岩清水八幡宮



湯田川温泉街入口

アクセス

（北緯 38.695569°、東経 139.766076°）

日本海東北自動車道鶴岡西ICから国道7号線を鶴岡市内方面に2km程進み、矢馳交差点を湯田川方面に右折する。県道338号線を3.8km程南下し、国道345号線湯田川温泉口十字路を右折する。そこから400m程進んだ左側に「この先100m岩清水八幡宮」の標識がある。

国道345号線から岩清水八幡宮に入る道は未舗装で狭いので、湯田川温泉共同駐車場を利用し、徒歩で行くのがお勧め（約10分）。

